

あなたもチャレンジ
家庭菜園

ブロッコリー
側花蕾を春まで取り続ける
そくからい

ブロッコリーは冷涼な気候を好み、生育適温は18〜20度です。小さいときは高温に強いが、つぼみの肥大期には耐暑性が弱くなります。一方耐寒性もあまり強くなく、氷点下2度以下で凍害を受けます。

7月下旬〜8月中旬にまき、11〜12月に頂部の花蕾を収穫し、その後側枝から小さい花蕾を春まで取り続けます。

【品種】花蕾が作られる早晩で早生、中生、晩生に分けられます。中生品種が作りやすく頂・側枝花蕾兼用の「ハイツP」（タキイ種苗）、「緑嶺」（サカタのタネ）な

どが一般的です。「スティックセニョール」

（サカタのタネ）は小さいつぼみで茎が柔らかく、たくさん取れる家庭菜園向きの品種です。

【苗作り】直径7.5〜9cmポリポットを使い1ポット当たり3〜4粒をまき、本葉2〜3枚以上で1株に間引きます（図1）。苗作りの期間中は、寒冷紗で害虫の飛来を防ぎます。

【畑の準備】植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいて、深く土を耕しておきます。植え付け1週間前に畝幅70〜80cm、深さ20cmの溝を掘り、この溝1m当たり化成肥料（NPK各成分10%）100g堆肥2〜3kgを施し、土を戻してよく混ぜて、高さ10cm程度の畝を作っておきます（図2）。

図1 苗作り

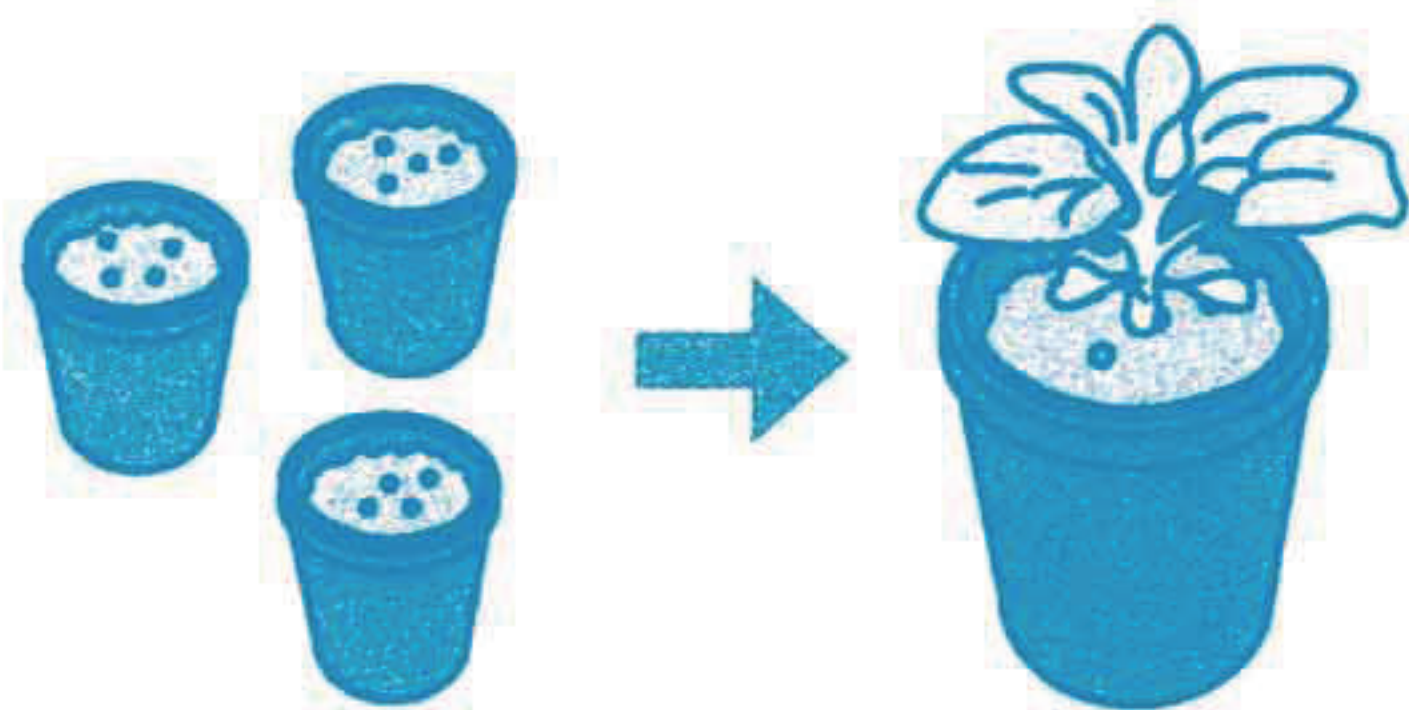


図2 畑の準備

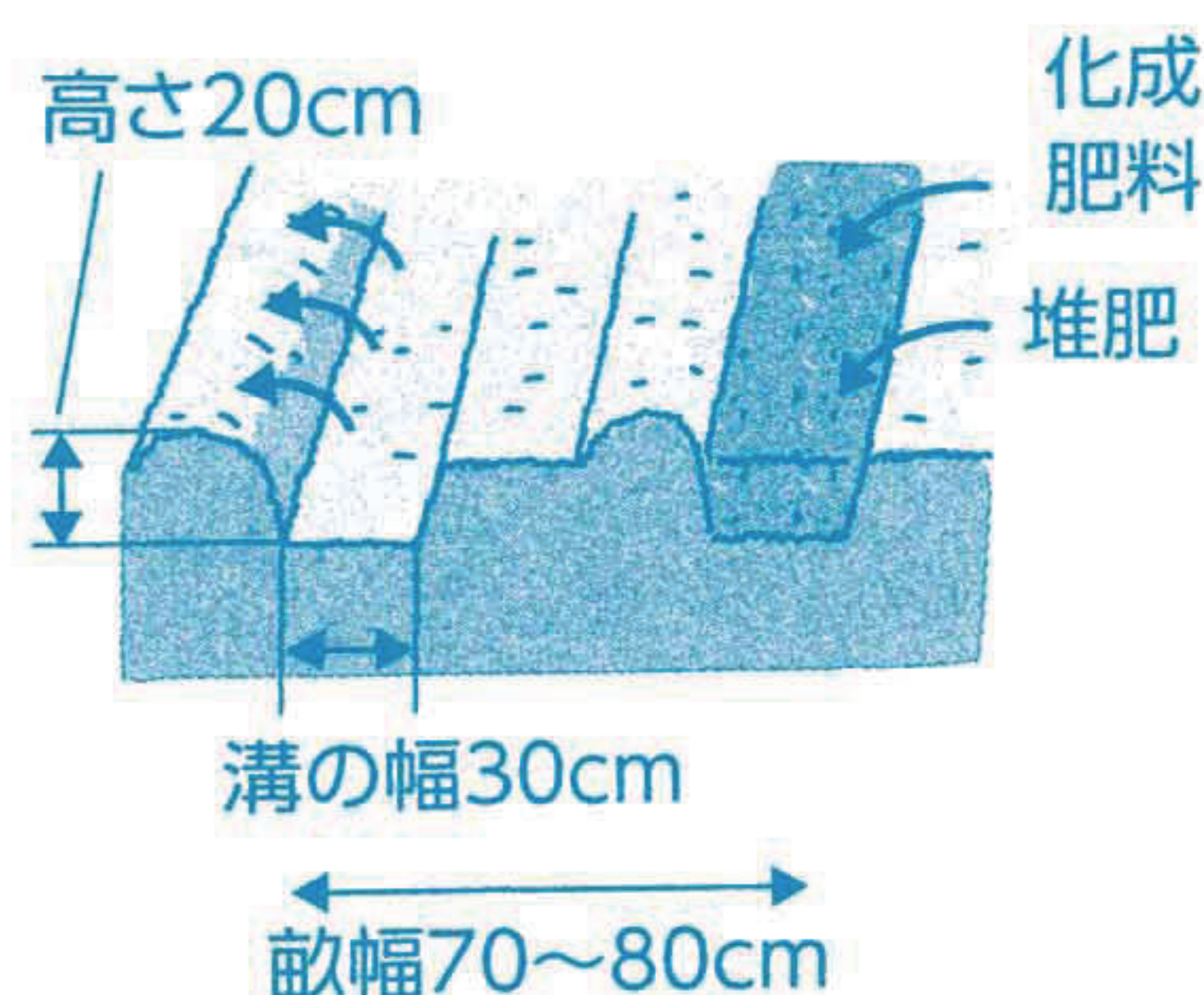


図3 植え付け

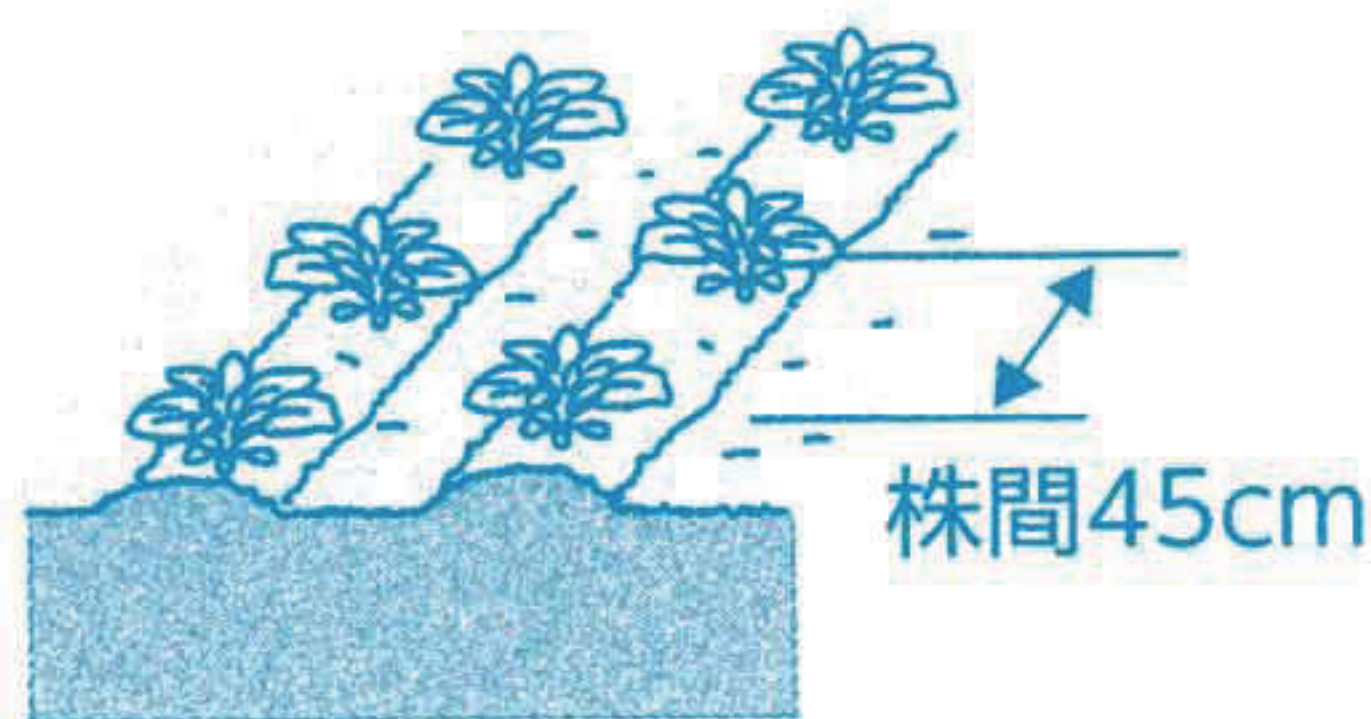
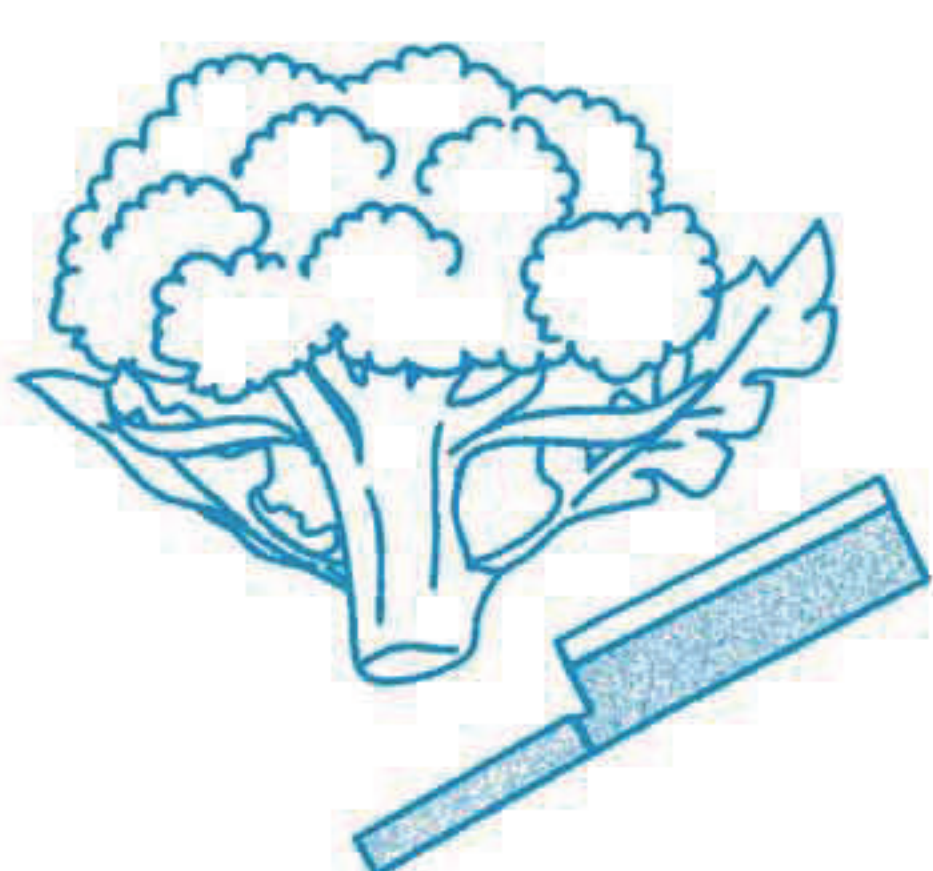


図4 収穫



【植え付け】本葉4〜5枚の頃、株間45cm程度に植え付けます（図3）。植え付け前には、植え穴に十分灌水して植え傷みの少ないようにします。

【追肥】追肥は植え付け後20日ころ株元に化学肥料を1株10gくらいまいて、土寄せします。2回目は花蕾が見える頃に施用します。また、頂部の花蕾を収穫後、側枝の発生を促すため、10gくらい与えます。

病害虫防除（ヨトウムシ、コナガなど）が多いので、トアロー水和剤CTなどで駆除します。

【収穫】花蕾が大きくなり、小さいつぼみがはつきりと見え、固く締まった状態が収穫時期。長さ15〜20cmに切り取ります（図4）。頂花蕾の収穫後、側枝から発生する小さい花蕾を春まで取り続けることができます。